（別　紙）

１　統計調査の名称

〇〇〇〇〇調査

〇〇〇〇〇調査

．．．

〇〇〇〇〇調査

２　調査票情報の利用目的

〇〇〇〇科学研究費補助金「〇〇〇〇〇（研究課題番号〇〇〇〇〇）」（研究概要については別添1）による研究事業の一環として，前記1に記載した統計調査を利用する目的は以下の通りである．

(1) 〇〇〇〇〇調査:

昭和〇〇年から平成〇〇年の〇〇〇〇〇調査を用いて，〇〇〇〇〇を目的としている（研究の目的・分析手法・利用する変数については別添2，使用する調査項目については別添2-1，集計表については別添2-1～2-〇〇を参照のこと）．

(2) 〇〇〇〇〇調査:

昭和〇〇年から平成〇〇年の〇〇〇〇〇調査を用いて，〇〇〇〇〇を目的としている（研究の目的・分析手法・利用する変数については別添3，使用する調査項目については別添3-1，集計表については別添3-1～3-〇〇を参照のこと）．

…

(〇) 〇〇〇〇〇調査:

昭和〇〇年から平成〇〇年の〇〇〇〇〇調査を用いて，〇〇〇〇〇を目的としている（研究の目的・分析手法・利用する変数については別添〇，使用する調査項目については別添〇-1，集計表については別添〇-1～〇-〇〇を参照のこと）．

３　調査票情報の利用者の範囲

(1) 〇〇〇〇〇調査:

所属機関名・職位・氏名

所属機関名・職位・氏名

…

所属機関名・職位・氏名

(2) 〇〇〇〇〇調査:

所属機関名・職位・氏名

所属機関名・職位・氏名

…

所属機関名・職位・氏名

(〇) 〇〇〇〇〇調査:

所属機関名・職位・氏名

所属機関名・職位・氏名

…

所属機関名・職位・氏名

４　利用する調査票情報の名称及び範囲

＜〇〇〇〇〇調査＞

1. 名称 〇〇〇〇〇調査
2. 年次等 昭和〇〇年～平成〇〇年のうち以下の年次（転写媒体分）

昭和〇〇年　〇〇票・〇〇票・…・〇〇票（転写媒体分）

1. 地域　全国，ないしは，用いる地域名
2. 属性的範囲　全員，ないしは，特定の属性的範囲

＜〇〇〇〇〇調査＞

1. 名称 〇〇〇〇〇調査
2. 年次等 昭和〇〇年～平成〇〇年のうち以下の年次（転写媒体分）

昭和〇〇年　〇〇票・〇〇票・…・〇〇票（転写媒体分）

1. 地域　全国，ないしは，用いる地域名
2. 属性的範囲　全員，ないしは，特定の属性的範囲

５　利用する調査事項及び利用方法

＜調査事項＞

〇〇〇〇〇調査（別添2-1）

〇〇〇〇〇（別添3-1）

　．．．

〇〇〇〇〇（別添〇-1）

＜利用方法＞

厚生労働省から提供された調査票情報を用いて，前記3の利用者が後記7の利用場所において，外部ネットワークと接続していないコンピュータを利用し，「利用する調査事項」欄記入の調査票情報項目を用いて分析を行う．集計表及び結果表などについては別添2-2～別添〇〇-〇〇のとおりである．なお，当該調査において，事業者や利用者個人が特定されるような事業所番号，被保険者番号，保険者番号，市区町村符号等を使用した集計は行わないこととする．

[※複数個所で用いる場合は説明が必要]

複数個所で利用する理由は，本研究プロジェクトに参画している研究者の研究機関がそれぞれ異なるため，1か所でデータ処理・解析が非効率的であり，また，実質上不可能であるためである．また，利用期間については，本研究プロジェクトが対象とするデータがサンプル数・変数ともに膨大である大規模データであるため，当該〇〇〇〇研究費補助金の終了時点の平成〇〇年〇〇月までとする．尚，利用者が，外付けのハードディスクやUSBメモリ等の外部電磁的記録媒体を持ち歩くことはない．

６　利用期間

承諾日から平成〇〇年〇〇月〇〇日

７　利用場所，利用する環境，保管場所及び管理方法

1. 利用場所

所属機関名（〇〇〇〇〇研究室）

所属機関名（〇〇〇〇〇研究室）

…

所属機関名（〇〇〇〇〇研究室）

1. 利用する環境，保管場所及び管理方法

＜所属機関名（〇〇〇〇〇研究室）＞

利用者名〇〇〇〇〇が管理する研究室の，施錠可能な室内に限定して利用し，それ以外への持ち出しを禁止する．また利用者名〇〇〇〇〇が研究室内に立ち入る者を管理する．外部ならびに内部のネットワークに接続しないワイヤーによって固定された1台のコンピュータ上で調査票情報を利用する．これら利用するコンピュータについては，ID及びパスワードの設定によりアクセス制限しており，アンチウイルスソフト（ウイルスバスタークラウド）を導入，最新のセキュリティパッチの適用などのセキュリティホール対策の導入，スクリーンロックの導入が図られており，漏洩防止等の措置を講じている．現状，いずれのPCも，有線LANをはずし，スタンドアロンの状態にある．データ取得後は，データ自体はPCに保存せず，適宜，外付けのハードディスク及びUSBメモリをコンピュータから外した状態で，有線LANにつなぎ，セキュリティパッチの適用等，メンテナンスをする予定である．

調査票情報（転写CD-RまたはDVD-R）及び中間生成物は全て外付けのハードディスク及びUSBメモリーに格納しコンピュータに内蔵される記憶装置には一切の情報の蓄積を行わない．さらに，これらの情報を利用しないときは，当該外付けのハードディスク及びUSBメモリーをコンピュータから外し，調査票情報（転写CD-RまたはDVD-R），外付けのハードディスク及びUSBメモリーは所属機関名〇〇〇〇〇に鍵を管理する施錠可能なボックスに施錠の上保管する．保管管理責任者は利用者名〇〇〇〇〇とする．

＜所属機関名（〇〇〇〇〇研究室）＞

利用者名〇〇〇〇〇が管理する研究室の，施錠可能な室内に限定して利用し，それ以外への持ち出しを禁止する．また利用者名〇〇〇〇〇が研究室内に立ち入る者を管理する．外部ならびに内部のネットワークに接続しないワイヤーによって固定された1台のコンピュータ上で調査票情報を利用する．これら利用するコンピュータについては，ID及びパスワードの設定によりアクセス制限しており，アンチウイルスソフト（ウイルスバスタークラウド）を導入，最新のセキュリティパッチの適用などのセキュリティホール対策の導入，スクリーンロックの導入が図られており，漏洩防止等の措置を講じている．現状，いずれのPCも，有線LANをはずし，スタンドアロンの状態にある．データ取得後は，データ自体はPCに保存せず，適宜，外付けのハードディスク及びUSBメモリをコンピュータから外した状態で，有線LANにつなぎ，セキュリティパッチの適用等，メンテナンスをする予定である．

調査票情報（転写CD-RまたはDVD-R）及び中間生成物は全て外付けのハードディスク及びUSBメモリーに格納しコンピュータに内蔵される記憶装置には一切の情報の蓄積を行わない．さらに，これらの情報を利用しないときは，当該外付けのハードディスク及びUSBメモリーをコンピュータから外し，調査票情報（転写CD-RまたはDVD-R），外付けのハードディスク及びUSBメモリーは所属機関名〇〇〇〇〇に鍵を管理する施錠可能なボックスに施錠の上保管する．保管管理責任者は利用者名〇〇〇〇〇とする．

８　結果の公表方法及び公表時期

平成〇〇年度〇〇〇〇科学研究費補助金「〇〇〇〇〇（研究課題番号〇〇〇〇〇）」における分析結果を，平成〇〇年〇〇月末，及び，平成〇〇年〇〇月末までに厚生労働省に対し報告し，報告後，ディスカッション・ペーパー，又は，学術論文として公表する．その際，表章する数が少ない場合は公表しないか，あるいは適宜分類項目の統合を計り，個人・世帯の特定が可能となるような属性は秘匿処置を講じる．なお，集計表の最小単位のセルに該当する個人数が微少な場合，算出した各数値の取り扱いには十分注意する．また，公表にあたっては，厚生労働省に申出した各調査票情報を利用した旨を明記する．

９　転写した調査票情報の利用後の処置

調査票情報（転写CD-RまたはDVD-R）並びに分析及び集計に用いた中間生成物についても，当該目的以外に利用しないこととし，利用終了後直ちにUSBメモリーー及び外付けハードディスクからは消去するとともに，転写CD-RまたはDVD-Rについては裁断処理（紙媒体は焼却，溶解）する．

１０　著作権

この申出に基づく調査票情報を利用して作成した集計結果について，上記3の利用者は，著作権を主張しない．

１１　転写した調査票情報の仕様

ファイル形式　　テキスト形式

文字コード　　　SJIS

不要項目の処理　ブランク

１２　事務担当者

　　所属機関名

職位　氏名

　　所在地 〒〇〇〇-〇〇〇〇

　　電話 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

　　E-mail 〇〇〇〇〇@〇〇〇〇〇.jp